

2024 年度（令和 6 年度） 事業計画書

当会の公益目的事業は、「観賞用花木等の収集保存、育種、栽培、利用の研究、情報の収集と提供及び普及啓蒙等の事業」です。

以前は桜苗木の大量配布が中心でしたが、近年は、桜の名所づくりのノウハウや保全・管理方法の普及啓発、花のまちづくりの支援といった、質の充実に力を注いでいます。2024 年度（令和 6 年度）も、こうした活動の質的充実にさらに推進していきます。事業の各項目における主な計画は以下のとおりです。

1. 桜苗木の生産・配布による桜の名所づくりや桜苗木の受託生産と育苗、花や緑を活かした花のまちづくりなどの推進（国土緑化）

1) 桜の名所づくり

① 桜苗木の生産と配布

当会は、病気に強く育てやすい品種の苗木生産と提供を通じて、桜の名所づくりを支援しており、これまでに累計 250 万本以上を出荷しています。単に苗木を提供するだけでなく、植栽地の気候・土壌や住民のニーズに合った品種の選定、植栽方法や管理方法のアドバイス、植栽後のフォローなどを確実に実施しています。ピーク時に比べ、出荷本数は減少していますが、引き続き自治体や地域住民と一体となって、桜の名所づくりを支援していきます。

② さくらコンシェルジュ

新しい桜の名所をつくりたい、自分達が植栽した桜を健全に育て新しい名所にしたい、既存の桜の名所を守り後世に伝えたい、といった地域住民や団体等の要望に積極的に応えるため、当会研究員を現地へ派遣しています。今後も、積極的・計画的に現地へ出向き、住民や団体等と共に活動計画を策定して、技術的な支援や指導を行うとともに、住民の桜によるまちづくりの合意形成にも協力していきます。

③ 桜を通じた災害復興支援

災害復興支援として、これまでに 7,000 本以上の桜の苗木を無償で提供しており、今後も継続していきます。当初は東日本大震災の被災地における、津波被害を受けた桜の後継樹育成などが中心でしたが、2019 年度以降は、支援対象を自然災害全般に拡大し、被災地向けに桜苗木や花苗および堆肥の無償提供、品種の選

定や復興計画の進捗に合わせた植樹、植栽後の剪定・保全管理などの技術指導を行っています。

2) 桜苗木の受託生産と育苗

地元で愛されている桜の苗木増殖や、伐採せざるを得ない桜の保存を目的に、接木による苗木生産を通じて後継樹の育成を支援する事業を、自治体や団体、個人などから受託して行っています。これからも、住民が親しみを感じている桜の苗木を育て、植栽して後世に残すことで、地域住民に愛される桜の名所づくりに繋げていきます。

3) 花のまちづくり

花のまちづくりは、単に花壇を作ったり街路を花で飾ったりするにとどまらず、「花が持つ力」を活かして、花や緑でよりよい生活環境を作るとともに、世代を超えて人と人が関わり合い、コミュニティを発展させ、いきいきとしたまちにしていく活動です。さらに、地域の風景や環境に調和した花を演出することで、見る人の共感が得られ、個性と永続性のある活動となります。当会は、自治体や公共団体などの要請に基づき、各地で花のまちづくりの支援を行っており、来年度も、引き続き、山口県上関町や静岡県熱海市において実施する予定です。

上関町では、「花咲く海の町・上関」推進委託事業として、河津桜と水仙による公園の整備、「花づくりパートナー制度」の支援や、保育園児を対象に今年度開始した「花育」活動などを、継続して実施していきます。

熱海市では、「熱海花のまちづくり」計画関連事業に引き続き参画し、公共花壇での植栽指導や、糸川遊歩道の改修計画策定などを実施していきます。

2. 桜の名所づくりや花のまちづくりに関する講師派遣、講座・シンポジウム等の開催 (普及啓発)

1) 講師派遣

地方自治体等が開催する桜の講習会や勉強会に、当会研究員を講師として派遣し、施肥や剪定・整枝、病気や害虫への対処方法などを指導しています。また、花のまちづくりや花壇づくりの講習会や勉強会にも当会研究員を派遣し、花のまちづくりの一層の普及啓発を図っています。Webも積極的に活用し、来年度も各地で活動を行っていく予定です。

2) 桜の保全・管理に関する普及啓発

① サクラ保全管理講座の開催

学識経験者・樹木医等専門家による樹勢回復や病虫害対策等技術・科学的分野、歴史・文化等の分野、桜守等住民活動の分野に関する「サクラ保全管理講座」を、毎年開催しています。今年度は11月に大阪で開催し、来年度は東京で開催する予定です。樹木医や各地で桜の保全活動を行っている住民団体の方々、桜愛好家の皆様等、Web参加も含めて、毎回100名以上の受講者にご参加頂いています。

② 全国さくらシンポジウムの開催

桜の維持保全活動推進、桜に対する住民意識の喚起、NPOやボランティアのモラルアップ等を目的に、1982年から、毎年全国の桜名所を有する自治体と共同で開催している「全国さくらシンポジウム」を、来年度は4月4日・5日の両日、茨城県桜川市で「100年先へ 桜花爛漫 ヤマザクラ」をテーマに開催します。

初日は、県立真壁高校の生徒や桜川日本花の会代表による事例発表、水戸桜川日本花の会代表幹事や森林総合研究所勝木俊雄氏による記念講演会、パネルディスカッションなどを、2日目は、国の名勝指定100年を迎える櫻川磯部稲川神社周辺のヤマザクラや高峰など市内の桜名所に加え、当会結城農場を視察する現地見学会を実施します。

③ 学び舎の桜プロジェクト

学校にある桜に触れる原体験を通して、桜への興味や関心を深めてもらい、将来、桜保全や樹勢回復等桜を守る活動に携わってもらえるような人材を育成するため、小学校児童や中学・高校生を対象とした活動を行っています。PTAや地域住民が参加するケースもあり、桜の名所づくりアドバイザーの協力も得ながら、接木や桜授業等、地域特性に応じた活動内容を心掛けて、支援を継続します。

3) 花のまちづくり運動の普及啓発

① 全国花のまちづくりコンクールの実施

1990年に開催された「国際花と緑の博覧会」の基本理念“人間と自然の共生”を継承・発展させる事業として、1991年から毎年「全国花のまちづくりコンクール」を実施し、花の社会性（花が社会に及ぼすプラスの影響）の向上を目指し、優れた花のまちづくり活動（地域の環境づくり・コミュニティ形成に貢献する活

動) を表彰しています。国際花と緑の博覧会協会、都市緑化機構、日本花普及センターと当会で構成される花のまちづくりコンクール推進協議会が主催し、当会が事務局として運営しています。

来年度も、例年どおり、4月に募集を開始し、7月下旬に第1次審査、8月に現地審査、9月に第2次(最終)審査、10月に表彰式という日程で進めます。引き続きコンクールの質的充実を図るとともに、効率的な運営に努めます。また、近年の応募者減少対策として、都道府県など行政への働きかけや、マスコミへの情報提供などを継続して行っています。

② 全国花のまちづくり地方大会の開催

全国花のまちづくりコンクールの関連イベントとして、花のまちづくりの普及啓発を目的に、花のまちづくりコンクール推進協議会が自治体と共同で毎年開催する「全国花のまちづくり地方大会」に、事務局として運営に参画しています。

コンクール大賞受賞者の優秀事例発表や、地元団体の活動事例発表、著名人の記念講演、パネルディスカッション等を通じ、地元住民の花のまちづくり活動の推進やレベルアップ等を図ることが目的です。

来年度は、5月25日・26日の両日、石川県小松市で「美しいは楽しい ひろがる小松」をテーマに開催し、初日は、NPO法人みどりのこまつスクスク会の事例発表、恵庭全国花のまちづくり推進会議代表による先進事例発表や公立小松大学の地域研究発表、村雨辰剛氏によるスペシャルトークショーなどを、2日目は、木場潟公園東園地、小松運動公園バラ園などの現地見学会を予定しています。

③ こまつの杜での花育

2015年から、石川県小松市にある「こまつの杜」で行われている花育活動に、当会研究員が講師として参加しています。子ども達が自ら「育てる楽しさ、花咲くよろこび」を感じられるよう、ボランティアスタッフであるコマツOB/OGの皆さんや、「わくわくコマツ館」職員の皆さん、小松市の皆さんなどと日頃から連携し、活動を継続しています。従来の活動に加え、今年度からは、園の先生を対象としたフォローアップや小松駅前道路に新設した「ナチュラルガーデン」での園児との植込作業等新たな活動も行っており、全国花のまちづくり小松大会への参画にも協力しています。

4) 屋上緑化

コマツビルの建て替えに伴い、コマツビル屋上庭園は昨年6月で一般公開を終了しました。八重紅枝垂など、屋上庭園の植物は、可能な限り当会結城農場に仮移植し、3年後に完成予定の新コマツビルへの復植を目指して維持管理を行っています。

屋上庭園の植物の一部は、レスキューイベントとしてコマツ社員にも参加頂いて掘り取り、希望者には自宅で栽培頂いています。屋上庭園の植物や土壌などの状況は、貴重な情報として記録に残すため、当会理事や外部専門家の協力も頂いて調査を行いました。

結城農場に移植した植物の状態は、適宜ホームページやInstagram、X(旧Twitter)で情報発信していきます。

3. 桜の品種特性に関する調査研究、桜の樹勢回復に関する調査研究と技術指導 (試験研究)

1) 自主研究

① 桜の品種特性に関する調査研究

桜見本園で収集保存している桜の花の形状等品種特性について、画像のデータ化やホームページ等での情報公開を進め、多様性のある桜に対する世間一般の認識向上に、引き続き努めていきます。

② 桜の樹勢回復に関する調査研究

桜見本園の桜を利用した樹勢回復の試験研究を継続し、全国各地の桜の保全に対応できるよう、引き続き技術力向上に努めていきます。

2) 受託研究

① 桜の樹勢回復に関する調査研究と技術指導

桜の名所づくりや樹勢回復に関する事業を自治体等から受託して調査研究を行い、剪定、病虫害駆除、施肥など、樹勢回復の提言と指導を引き続き行っています。

(受託研究の事例)

- ・ 幸手市（埼玉県） …… 権現堂桜堤の桜樹勢回復
- ・ 須坂市（長野県） …… 臥竜公園の桜樹勢回復
- ・ 富士吉田市（山梨県） …… 新倉山浅間公園の桜樹勢回復
- ・ 藤岡市（群馬県） …… 桜山公園の桜樹勢回復

以上